

2021年度 発達支援つむぎ 浦和美園 職員アンケート改善策報告

いつも発達支援つむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長または職員にお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備・環境について	Q2	入口や指導室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お子さまが活動するにあたり安全な環境であるか。	3.96	ご利用者が気持ち良くご利用できるように、日々の清掃、整理整頓を心掛けてまいります。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.42	職員一人ひとりがそれぞれの専門性を活かせるよう、学びの場を設け、専門性の向上に努めてまいります。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	3.46	日々の業務分担等を行い、休憩を適切に取りながら、業務の質が低下しないようにしてまいります。
	Q5	ルーム内の環境や指導員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.50	日々の業務の振り返りしながら、職員全員が働きやすいと感じられる職場づくりを目指してまいります。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	3.96	日々の活動をわかりやすくお伝えすることを大切にしながら、気づいたことを言いやすい風通しのよい環境づくりに努めております。また、アンケート調査等を行い、情報を共有しながら業務改善に繋げていきます。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	3.85	カフェスペースに掲示をし、ホームページにて公開しております。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.77	第三者機関による外部評価の実施はありませんが、内部監査を年に2回実施しており、法人のガイドラインに則った正しい運営を心掛けております。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.85	法人実施のスキル講座や法人外での研修、地域でのWeb講座に参加し、施設内で共有会を開催し、質の向上に努めております。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		利用者の方からいただいたお声等、即時に職員間で共有を行い、業務の改善や環境改善に努めてまいります。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.65	職員の認識の統一性を図り、実用性のあるアセスメントツールを活用してまいります。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	3.85	アセスメント後、策定会議の時間を設け、個々のお子さまの様子、発達から支援目標を見極め、支援計画につなげてまいります。
	Q14	グループ指導や個別指導のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	3.81	個別支援計画をもとに、目標に沿ったねらいが盛り込まれているか意識しながら、支援活動の実践に努めてまいります。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3.88	生活・遊びを重視した活動、多様多発する環境〜戸外での活動を大切に、いろんな人との関わりが楽しめる支援の活動を行ってまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.23	活動前の打ち合わせや、お子さまの様子によって臨機応変に対応できるように職員間で情報共有に努め、お子さまを真ん中にした関わりを大切にしております。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.23	日々の支援の振り返りや、ケースの検討、連絡事項などをきめ細かく行い、より良い支援につなげてまいります。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.00	支援内容や保護者様とのお話などは都度記録をし、情報を共有しながら支援にあたることを心掛けております。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていくか。	3.96	定期的なモニタリングを実施し、適用期間内に次期の個別支援計画が提示できるように今後とも努めてまいります。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	3.92	児童発達支援ガイドラインに沿って、複数の活動を組み合わせながら支援に取り組むように努めてまいります。
	Q21	適切な指導の提供について、ご意見をお聞かせください。		
保護者との関係性について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3.96	日々のフィードバックや送迎時等での保護者様との関わりややりとりを大切に、子育ての悩みを聞ける関係性を構築できるよう努めてまいります。
	Q23	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	3.81	関係機関連携加算の制度を説明し、所属園との連携を提案してまいります。
	Q24	児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	3.46	協議会や連携会議に参加したり、他事業所との連携に努め、情報共有に努めてまいります。
	Q25	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.81	セルフプランでのご利用者様が多いため、様々な情報をお伝えできるように情報収集に努め、新しい情報を保護者様にお伝えできるように努めてまいります。

保護者との関係機関にやっています	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.19	地域の児童発達支援センターや専門機関と連携し、情報共有や助言をいただいております。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.19	近隣市の子ども部会などへの参加を積極的に行えるよう努めてまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	3.00	子ども同士の関わり合いの中、成長できる機会をさらに充実させていけるように努めてまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.31	地域機関や他事業所と連携し、地域に開かれた施設、環境設定や行事の企画、実施するよう努めてまいります。
	Q30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか。	3.12	外部講師の研修の開催や、保護者の方や地域の方に向けての子育て学習会や子育て相談会などを実施してまいります。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	3.92	安心してご利用いただけるよう、契約時には丁寧にわかりやすい説明を心掛けております。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3.27	その都度、保護者様のご相談に応じております。場合によっては「事業所内相談支援加算」の制度を利用し、しっかりと面談を実施しております。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	4.00	コロナ禍という状況で、保護者会等のイベントの実施が行えておりませんでした。今後、WEBを使用するなど、感染防止に配慮した形で実施していけるように企画してまいります。
	Q35	お子さまや保護者様からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.15	ご意見をいただいた際は、早急に職員間で共有し、真摯に対応させていただいております。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、お子さまや保護者様に対して情報を発信できているか。	4.04	開催のお知らせに関しては、配布文書や掲示をしております。活動報告に関してはブログでも掲載しております。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例：分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	3.85	日々の支援の振り返りの中で、わかりやすく伝えることができるように努めてまいります。
	Q38	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	3.50	PCは各個人ログインIDとパスワードがあり、他人が開くことができない仕様になっております。個人記録は鍵付きの書庫に保管しております。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.23	毎日、朝礼と夕礼で情報共有を行っております。業務日報への記載も行い、全職員が確認するように努めてまいります。
	Q40	保護者やお子さまへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		
	非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	3.85
Q42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.19	消防計画に沿って、月1回、児童発達支援および放課後等デイサービス共に避難訓練を行っています。
Q43		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.12	今後、行政主催の虐待防止研修等に参加し、職員間で意識を高めてまいります。
Q44		ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.00	ヒヤリハット報告書に記録し、共有を行っております。様々な場面でのヒヤリハットに気付き、けがや事故につながることはないよう、お子さまが安全に活動できるように努めてまいります。
Q45		非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		今年度もコロナ禍という非常事態がありました。非常時の対応について再度見直し、安心安全にご利用していただける様、環境の整備に努めてまいります。
満足度について	Q46	利用児はつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.08	ご利用を楽しみにしているとお声をたくさんいただきました。今後もお子さま一人ひとりを真ん中に、お子さまの気持ちを大切にしたり関わりをしてまいります。また、施設に関わる皆が安心できる居場所づくりに努めてまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、利用児の変化や成長を実感することがあるか。	4.19	日々の支援を通じて、子どもたちの成長を感じる出来事や場面を保護者様と共有し、お子さまの成長発達を共に喜び合える、共感する関係づくりに努めてまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		